

茨城県衛生研究所  
令和5年度評価書

令和6年10月  
茨城県衛生研究所  
評価委員会

【様式6】

機関評価に係る評価書

令和 6 年 9 月 30 日

衛生 研 究 所 長 殿

茨城県衛生研究所評価委員会  
委員長 木村 博一

□総合評価

評価:AA(3.8)	試験研究機関に期待される役割や目標等に照らし合わせ、質・量の両面において着実に取組みを実施していると判断できる。
<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い通常業務に戻る中、多数の試験検査をこなしながら、調査研究を進めていることは高く評価できる。研究成果を学会や学術論文に発表しており、特に学会発表数が多かったことは特筆に値する。専門英文誌への投稿・公表をさらに促進していただきたい。研究では、終了期間を設けずに継続する意義のある課題があっても良いと考える。</p> <p>公的な研究機関との連携、地域保健関係者に対する専門的・技術的研修の実施など、衛生研究所として実施すべき内容に積極的に取り組んでおり、各項目、それぞれにおいて計画ないし計画以上の活動を実施した。人事異動があることから、切れ目なく人材を確保できるような評価項目も必要と考える。</p> <p>関係機関との意見交換の機会を増やして県民ニーズの把握に努めるとともに、出前講座・研修会実施については待ちではなく積極的な取組も検討もすべきではないか</p>	

□項目別評価

i) 県民に対して提供する業務

1) 調査研究

評価: AA

衛生研究所として必要な調査研究に取り組んでおり、いずれも公衆衛生業務の発展に寄与する内容であった。それぞれの課題は重要なものであり、学会発表や論文など着実に研究成果がでていいる。  
英文業績が例年に比し少ないと思われるが、現在進行中の研究成果が将来、英文専門誌に掲載されることを期待したい。

2) 試験検査

評価: AA

多様な計画検査を着実にやっている。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、通常業務に戻る中で、食中毒疑い等突発的な検査に迅速に対応し、原因究明の一助となるなど大いに評価できる。

3) 研究成果等の活用促進

評価: AA

学会発表、学術誌等への投稿が多数行ったほか、研究成果を県民の啓発などへ十分に活用している。オズウイルス感染症患者の世界初診断に貢献した業績やO157の疫学情報の活用は評価に値する。  
更に論文投稿を増やすことが期待される。

4) 広報・情報発信・普及啓発

評価: AA

非常に多数の情報を、衛生研究所のホームページで頻繁に情報発信した。薬剤耐性対策の推進においては、様々な媒体で普及活動を実践しており評価できる。感染症情報センターでは定期的な情報発信に加え、県民への注意喚起がわかりやすい形での確に行われており、更新回数は前年度の倍以上と充実している。  
医療機関、特に感染対策向上加算1の医療機関(連携協議会等)に対し教育的な取組が期待される。  
出前講座・研修会等の回数は目標を達成できなかった。

5) 外部人材育成、教育活動

評価: AA

保健所等に対して、内容の充実した研修が多数提供されたほか、県内外の医療系大学・獣医学系大学の学生等へのインターンシップ、研修医への教育活動も積極的に行っており評価できる。専門的・技術的研修に感染対策向上加算に関する内容を含むなど、コロナ禍以降で取り組むべき内容にいち早く取り組んでおり評価できる。

ii)業務の質的向上、効率化のために実施する方策

1)全体マネジメント

評価： A

検査機器の整備、品質保証体制の整備、病原体等の安全管理の確保は、計画に沿って着実に実施されている。医薬品PIC/Sに係る体制整備において新たな試験検査SOPを追加制定し、品質保証体制の整備を進めたことは評価できる。業務の進捗状況管理と情報共有の定期的な所内会議やミーティングを実施し、外部評価を受け業務改善を検討しており、適切にマネジメントしている。  
単年度ごとの研究計画や進捗状況、研究費の使用実績(予定)がわかる資料があると評価しやすい。

2)他機関との連携、調査研究費の獲得

評価： AA

共同研究や研究協力の形で、国立試験研究機関や他の自治体の地方衛生研究所等と積極的に連携が行われたほか、県立試験研究機関との合同業績発表会も行われており評価できる。また、特電など外部資金による調査研究費獲得にも努力している。

3)県民ニーズの把握

評価： A

県民ニーズの高い感染症を十分に把握した啓発活動が展開されている。  
出前講座・研修会実施については数が伸びておらず、待ちではなく積極的な取組も検討もすべきではないか。

4)内部人材育成

評価： AA

OJTや情報共有の場の確保だけでなく、研修・交流機会の確保について積極的に行われている。伝達講習も行われ研究所全体の資質向上が図られたと評価できる。学会発表の数が増えている点も内部人材のスキルや研究力向上につながり、また向上を反映しているものと思われる。所員が大学院博士課程へ進学していることも評価できる。  
若手の所員に積極的に発表や出前講座の講師などの役割を与えることが重要であり、また着実な技術継承のため教育カリキュラムと習熟度評価のシステムが必要である。

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																																																																																																											
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																																																																																																										
i) 県民に対して提供する業務	1) 調査研究	AA ○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現  ○取組み状況: 調査研究6課題 ・茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究(特電課題) ・原因不明症例における次世代シーケンサーを用いたウイルスの網羅的解析(特電課題) ・茨城県における腸管出血性大腸菌の分子疫学解析に関する研究 ・茨城県におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明 ・茨城県における SFTS ウイルス等モニタリング調査 ・凍結粉砕法を用いた食品中の残留農薬分析における前処理法の検討  ○成果 ・完了: 1 課題 ・新規: 2 課題(令和 5 年度事前評価実施) ・継続: 3 課題(進捗: 実施計画通り)	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現																																																																																																																										
	2) 試験検査	A ○質・量の両面において概ね令和5年度計画を達成  試験検査の内容 ○ 計画検査 ・茨城県食品衛生監視指導計画 ・県内流通医薬品試験検査実施要領 ・家庭用品試買試験検査実施要領 ・病原性微生物等実態調査要領 等  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>試験項目</th> <th>件数 (R5年度実績)</th> <th>衛生研究所 担当部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>食肉の試験検査</td><td>108</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>農産物漬物の試験検査</td><td>22</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>23</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>輸入食品の試験検査</td><td>110</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>144</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査</td><td>179</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>認定小規模食鳥処理場微生物検査</td><td>140</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>県内産魚介類の寄生虫検査</td><td>R5年度より 事業取りやめ</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>水道水質調査事業に伴う試験検査</td><td>8</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>感染症流行予測調査事業に伴う試験検査</td><td>872</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>蚊の生息状況調査</td><td>実施回数 6回</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>二枚貝中のノロウイルスの試験検査</td><td>4</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>県内流通医薬品等の試験検査</td><td>44</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>後発医薬品の試験検査</td><td>6</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>医療機器の試験検査</td><td>2</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>2</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>無承認無許可医薬品の試験検査</td><td>36</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>家庭用品の試買試験検査</td><td>150</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>指定薬物等の試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>食品の残留農薬試験検査</td><td>63</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>遺伝子組換え食品の試験検査</td><td>9</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>加工食品の放射性物質試験検査</td><td>27</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>イノシシ肉の放射性物質試験検査</td><td>1</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>水道水の放射性物質試験検査</td><td>56</td><td>理化学部</td></tr> </tbody> </table> ○ 行政依頼検査 ・茨城県感染症発生動向調査事業実施要項 ・茨城県結核予防計画 ・茨城県食中毒事故処理要領 等  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>試験項目</th> <th>件数 (R5年度実績)</th> <th>衛生研究所 担当部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査</td><td>147</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>834</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査</td><td>2</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>289</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査</td><td>825</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>455</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>感染症及び食中毒事例の分子疫学解析</td><td>64</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>2, 784</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>結核対策予防事業に伴う試験検査</td><td>101</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>レジオネラ病防止に伴う試験検査</td><td>154</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>犬の狂犬病検査</td><td>3</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>化学物質に係る試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td></td><td>640</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>食中毒及び苦情食品に伴う試験検査</td><td>425</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td></td><td>6</td><td>理化学部</td></tr> </tbody> </table>	試験項目	件数 (R5年度実績)	衛生研究所 担当部	食肉の試験検査	108	細菌部	農産物漬物の試験検査	22	細菌部		23	理化学部	輸入食品の試験検査	110	細菌部		144	理化学部	夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査	179	細菌部	認定小規模食鳥処理場微生物検査	140	細菌部	県内産魚介類の寄生虫検査	R5年度より 事業取りやめ	細菌部	水道水質調査事業に伴う試験検査	8	細菌部	感染症流行予測調査事業に伴う試験検査	872	ウイルス部	蚊の生息状況調査	実施回数 6回	ウイルス部	二枚貝中のノロウイルスの試験検査	4	ウイルス部	県内流通医薬品等の試験検査	44	理化学部	後発医薬品の試験検査	6	理化学部	医療機器の試験検査	2	細菌部		2	理化学部	無承認無許可医薬品の試験検査	36	理化学部	家庭用品の試買試験検査	150	理化学部	指定薬物等の試験検査	依頼なし	理化学部	食品の残留農薬試験検査	63	理化学部	遺伝子組換え食品の試験検査	9	理化学部	加工食品の放射性物質試験検査	27	理化学部	イノシシ肉の放射性物質試験検査	1	理化学部	水道水の放射性物質試験検査	56	理化学部	試験項目	件数 (R5年度実績)	衛生研究所 担当部	感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査	147	細菌部		834	ウイルス部	感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査	2	細菌部		289	ウイルス部	感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	825	細菌部		455	ウイルス部	感染症及び食中毒事例の分子疫学解析	64	細菌部		2, 784	ウイルス部	結核対策予防事業に伴う試験検査	101	細菌部	レジオネラ病防止に伴う試験検査	154	細菌部	犬の狂犬病検査	3	ウイルス部	化学物質に係る試験検査	依頼なし	理化学部		640	細菌部	食中毒及び苦情食品に伴う試験検査	425	ウイルス部		6	理化学部	AA
試験項目	件数 (R5年度実績)	衛生研究所 担当部																																																																																																																												
食肉の試験検査	108	細菌部																																																																																																																												
農産物漬物の試験検査	22	細菌部																																																																																																																												
	23	理化学部																																																																																																																												
輸入食品の試験検査	110	細菌部																																																																																																																												
	144	理化学部																																																																																																																												
夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査	179	細菌部																																																																																																																												
認定小規模食鳥処理場微生物検査	140	細菌部																																																																																																																												
県内産魚介類の寄生虫検査	R5年度より 事業取りやめ	細菌部																																																																																																																												
水道水質調査事業に伴う試験検査	8	細菌部																																																																																																																												
感染症流行予測調査事業に伴う試験検査	872	ウイルス部																																																																																																																												
蚊の生息状況調査	実施回数 6回	ウイルス部																																																																																																																												
二枚貝中のノロウイルスの試験検査	4	ウイルス部																																																																																																																												
県内流通医薬品等の試験検査	44	理化学部																																																																																																																												
後発医薬品の試験検査	6	理化学部																																																																																																																												
医療機器の試験検査	2	細菌部																																																																																																																												
	2	理化学部																																																																																																																												
無承認無許可医薬品の試験検査	36	理化学部																																																																																																																												
家庭用品の試買試験検査	150	理化学部																																																																																																																												
指定薬物等の試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																												
食品の残留農薬試験検査	63	理化学部																																																																																																																												
遺伝子組換え食品の試験検査	9	理化学部																																																																																																																												
加工食品の放射性物質試験検査	27	理化学部																																																																																																																												
イノシシ肉の放射性物質試験検査	1	理化学部																																																																																																																												
水道水の放射性物質試験検査	56	理化学部																																																																																																																												
試験項目	件数 (R5年度実績)	衛生研究所 担当部																																																																																																																												
感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査	147	細菌部																																																																																																																												
	834	ウイルス部																																																																																																																												
感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査	2	細菌部																																																																																																																												
	289	ウイルス部																																																																																																																												
感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	825	細菌部																																																																																																																												
	455	ウイルス部																																																																																																																												
感染症及び食中毒事例の分子疫学解析	64	細菌部																																																																																																																												
	2, 784	ウイルス部																																																																																																																												
結核対策予防事業に伴う試験検査	101	細菌部																																																																																																																												
レジオネラ病防止に伴う試験検査	154	細菌部																																																																																																																												
犬の狂犬病検査	3	ウイルス部																																																																																																																												
化学物質に係る試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																												
	640	細菌部																																																																																																																												
食中毒及び苦情食品に伴う試験検査	425	ウイルス部																																																																																																																												
	6	理化学部																																																																																																																												
3) 研究成果等の活用促進	AA ○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現  ○当所研究員が共著者として学術誌に掲載された。また、機関誌等への投稿、学会等での発表及びホームページに掲載することにより、積極的に成果の活用・普及促進に努めた。  【実績】学会・研修会等での発表：2 1 回  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>発表題目</th> <th>学会・研修会等名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>オズウイルス検出の経緯について</td><td>関東甲信静支部ウイルス研究部会</td></tr> <tr><td>茨城県麻しん陽性確定例検出の経緯と対応</td><td>関東甲信静支部ウイルス研究部会</td></tr> <tr><td>茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の検査状況について</td><td>関東甲信静支部細菌研究部会</td></tr> <tr><td>新型コロナウイルスにおける全ゲノム解析の実施状況と検出株の推移について</td><td>公衆衛生獣医師協議会</td></tr> <tr><td>茨城県内におけるマダニ吸血源動物の調査について</td><td>公衆衛生獣医師協議会</td></tr> <tr><td>原因不明疾患からの Ozvirus 同定の経験</td><td>地域保健総合推進事業第 1 回感染症対策部会</td></tr> </tbody> </table>	発表題目	学会・研修会等名	オズウイルス検出の経緯について	関東甲信静支部ウイルス研究部会	茨城県麻しん陽性確定例検出の経緯と対応	関東甲信静支部ウイルス研究部会	茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の検査状況について	関東甲信静支部細菌研究部会	新型コロナウイルスにおける全ゲノム解析の実施状況と検出株の推移について	公衆衛生獣医師協議会	茨城県内におけるマダニ吸血源動物の調査について	公衆衛生獣医師協議会	原因不明疾患からの Ozvirus 同定の経験	地域保健総合推進事業第 1 回感染症対策部会	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現																																																																																																													
発表題目	学会・研修会等名																																																																																																																													
オズウイルス検出の経緯について	関東甲信静支部ウイルス研究部会																																																																																																																													
茨城県麻しん陽性確定例検出の経緯と対応	関東甲信静支部ウイルス研究部会																																																																																																																													
茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の検査状況について	関東甲信静支部細菌研究部会																																																																																																																													
新型コロナウイルスにおける全ゲノム解析の実施状況と検出株の推移について	公衆衛生獣医師協議会																																																																																																																													
茨城県内におけるマダニ吸血源動物の調査について	公衆衛生獣医師協議会																																																																																																																													
原因不明疾患からの Ozvirus 同定の経験	地域保健総合推進事業第 1 回感染症対策部会																																																																																																																													

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																					
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																				
		<table border="1"> <tr> <td>茨城県における新型コロナウイルス全ゲノム解析実施状況について</td> <td>関東・東京合同地区獣医師大会・三学会</td> </tr> <tr> <td>オズウイルス検出の経緯</td> <td>全国疫学情報ネットワーク構築会議</td> </tr> <tr> <td>下水処理場を対象とした下水サーベイランスの活用に関する実証事業の振り返り(水戸市)</td> <td>日本公衆衛生学会総会</td> </tr> <tr> <td>茨城県における薬剤耐性(AMR)対策の取り組み</td> <td>日本公衆衛生学会総会</td> </tr> <tr> <td>宿泊施設における感染対策の検討に関する現地調査について</td> <td>日本公衆衛生学会総会</td> </tr> <tr> <td>植物性自然毒の多成分一斉分析法の検討・食中毒対応事例</td> <td>日本公衆衛生学会総会</td> </tr> <tr> <td>高齢者施設で発生した RSV-A の集団感染事例</td> <td>日本公衆衛生学会総会</td> </tr> <tr> <td>茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の検査状況について</td> <td>日本公衆衛生学会総会</td> </tr> <tr> <td>オズウイルス感染症の発生について</td> <td>動物由来感染症技術研修会</td> </tr> <tr> <td>SFTS について</td> <td>茨城県公衆衛生獣医師協議会研修会</td> </tr> <tr> <td>県内におけるマダニ感染症について</td> <td>茨城県公衆衛生獣医師協議会研修会</td> </tr> <tr> <td>麻しん陽性確定例検出の経緯と対応</td> <td>茨城県薬剤師会学術集会</td> </tr> <tr> <td>茨城県における結核菌全ゲノム解析について</td> <td>茨城県薬剤師会学術集会</td> </tr> <tr> <td>茨城県における医薬品試験検査状況について—平成 30 年度～令和 4 年度—</td> <td>茨城県薬剤師会学術集会</td> </tr> <tr> <td>県の眼科定点における アデノウイルス検出状況について</td> <td></td> </tr> <tr> <td>茨城県の眼科定点における アデノウイルス検出状況について</td> <td>保健医療と福祉の事例発表会</td> </tr> </table>	茨城県における新型コロナウイルス全ゲノム解析実施状況について	関東・東京合同地区獣医師大会・三学会	オズウイルス検出の経緯	全国疫学情報ネットワーク構築会議	下水処理場を対象とした下水サーベイランスの活用に関する実証事業の振り返り(水戸市)	日本公衆衛生学会総会	茨城県における薬剤耐性(AMR)対策の取り組み	日本公衆衛生学会総会	宿泊施設における感染対策の検討に関する現地調査について	日本公衆衛生学会総会	植物性自然毒の多成分一斉分析法の検討・食中毒対応事例	日本公衆衛生学会総会	高齢者施設で発生した RSV-A の集団感染事例	日本公衆衛生学会総会	茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の検査状況について	日本公衆衛生学会総会	オズウイルス感染症の発生について	動物由来感染症技術研修会	SFTS について	茨城県公衆衛生獣医師協議会研修会	県内におけるマダニ感染症について	茨城県公衆衛生獣医師協議会研修会	麻しん陽性確定例検出の経緯と対応	茨城県薬剤師会学術集会	茨城県における結核菌全ゲノム解析について	茨城県薬剤師会学術集会	茨城県における医薬品試験検査状況について—平成 30 年度～令和 4 年度—	茨城県薬剤師会学術集会	県の眼科定点における アデノウイルス検出状況について		茨城県の眼科定点における アデノウイルス検出状況について	保健医療と福祉の事例発表会						
茨城県における新型コロナウイルス全ゲノム解析実施状況について	関東・東京合同地区獣医師大会・三学会																																							
オズウイルス検出の経緯	全国疫学情報ネットワーク構築会議																																							
下水処理場を対象とした下水サーベイランスの活用に関する実証事業の振り返り(水戸市)	日本公衆衛生学会総会																																							
茨城県における薬剤耐性(AMR)対策の取り組み	日本公衆衛生学会総会																																							
宿泊施設における感染対策の検討に関する現地調査について	日本公衆衛生学会総会																																							
植物性自然毒の多成分一斉分析法の検討・食中毒対応事例	日本公衆衛生学会総会																																							
高齢者施設で発生した RSV-A の集団感染事例	日本公衆衛生学会総会																																							
茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の検査状況について	日本公衆衛生学会総会																																							
オズウイルス感染症の発生について	動物由来感染症技術研修会																																							
SFTS について	茨城県公衆衛生獣医師協議会研修会																																							
県内におけるマダニ感染症について	茨城県公衆衛生獣医師協議会研修会																																							
麻しん陽性確定例検出の経緯と対応	茨城県薬剤師会学術集会																																							
茨城県における結核菌全ゲノム解析について	茨城県薬剤師会学術集会																																							
茨城県における医薬品試験検査状況について—平成 30 年度～令和 4 年度—	茨城県薬剤師会学術集会																																							
県の眼科定点における アデノウイルス検出状況について																																								
茨城県の眼科定点における アデノウイルス検出状況について	保健医療と福祉の事例発表会																																							
		<p>【実績】学会誌等への投稿:9本</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">原著論文・機関誌等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>Distribution of ticks and their possession of spotted fever group Rickettsia in Ibaraki prefecture</b></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Yoshihiko Kiyasu, <b>Shuichi Osawa</b>, Norimasa Tsutsumi, Norihiko Terada, <b>Noriko Nagata</b></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Journal of Infection and Chemotherapy : 2024 Jan 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>初めて診断されたオズウイルス感染症患者:IASR 速報 大澤修一 2023 年 6 月 23 日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別電源所在県科学技術振興事業補助金令和4年度完了課題成果集 櫻村諒 2023 年 8 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和 5 年度茨城県県立試験研究機関等成果集 櫻村諒 2023 年 8 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>茨城県における結核菌分子疫学解析に関する研究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別電源所在県科学技術振興事業補助金令和4年度完了課題成果集 梅澤美穂 2023 年 8 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>茨城県における結核菌分子疫学解析に関する研究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和 5 年度茨城県県立試験研究機関等成果集 梅澤美穂 2023 年 8 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>植物性自然毒の多成分一斉分析法に関する研究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和 5 年度茨城県県立試験研究機関等成果集 湯浅全世 2023 年 8 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>茨城県内におけるマダニ吸血源動物の調査について:茨城県獣医師会報 11 月号 大澤修一 2023 年 11 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>茨城県における新型コロナウイルス全ゲノム解析実施状況について</td> <td></td> </tr> <tr> <td>茨城県獣医師会報 11 月号 上野恵 2023 年 11 月</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○調査研究で習得した技術を、行政施策で活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>腸管出血性大腸菌による感染症事例や食中毒事例発生時に分子疫学解析を行い、原因究明や感染症対策に寄与した。</li> <li>植物性自然毒による食中毒発生時に有毒成分の検査を行い、原因究明に寄与した。</li> </ul> <p>○調査研究に対する表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オズウイルス感染症患者の世界初診断に大きく貢献したことについて、県知事から職員表彰を受けた。</li> </ul>	原著論文・機関誌等		<b>Distribution of ticks and their possession of spotted fever group Rickettsia in Ibaraki prefecture</b>		Yoshihiko Kiyasu, <b>Shuichi Osawa</b> , Norimasa Tsutsumi, Norihiko Terada, <b>Noriko Nagata</b>		Journal of Infection and Chemotherapy : 2024 Jan 2		初めて診断されたオズウイルス感染症患者:IASR 速報 大澤修一 2023 年 6 月 23 日		野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析		特別電源所在県科学技術振興事業補助金令和4年度完了課題成果集 櫻村諒 2023 年 8 月		野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析		令和 5 年度茨城県県立試験研究機関等成果集 櫻村諒 2023 年 8 月		茨城県における結核菌分子疫学解析に関する研究		特別電源所在県科学技術振興事業補助金令和4年度完了課題成果集 梅澤美穂 2023 年 8 月		茨城県における結核菌分子疫学解析に関する研究		令和 5 年度茨城県県立試験研究機関等成果集 梅澤美穂 2023 年 8 月		植物性自然毒の多成分一斉分析法に関する研究		令和 5 年度茨城県県立試験研究機関等成果集 湯浅全世 2023 年 8 月		茨城県内におけるマダニ吸血源動物の調査について:茨城県獣医師会報 11 月号 大澤修一 2023 年 11 月		茨城県における新型コロナウイルス全ゲノム解析実施状況について		茨城県獣医師会報 11 月号 上野恵 2023 年 11 月			
原著論文・機関誌等																																								
<b>Distribution of ticks and their possession of spotted fever group Rickettsia in Ibaraki prefecture</b>																																								
Yoshihiko Kiyasu, <b>Shuichi Osawa</b> , Norimasa Tsutsumi, Norihiko Terada, <b>Noriko Nagata</b>																																								
Journal of Infection and Chemotherapy : 2024 Jan 2																																								
初めて診断されたオズウイルス感染症患者:IASR 速報 大澤修一 2023 年 6 月 23 日																																								
野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析																																								
特別電源所在県科学技術振興事業補助金令和4年度完了課題成果集 櫻村諒 2023 年 8 月																																								
野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析																																								
令和 5 年度茨城県県立試験研究機関等成果集 櫻村諒 2023 年 8 月																																								
茨城県における結核菌分子疫学解析に関する研究																																								
特別電源所在県科学技術振興事業補助金令和4年度完了課題成果集 梅澤美穂 2023 年 8 月																																								
茨城県における結核菌分子疫学解析に関する研究																																								
令和 5 年度茨城県県立試験研究機関等成果集 梅澤美穂 2023 年 8 月																																								
植物性自然毒の多成分一斉分析法に関する研究																																								
令和 5 年度茨城県県立試験研究機関等成果集 湯浅全世 2023 年 8 月																																								
茨城県内におけるマダニ吸血源動物の調査について:茨城県獣医師会報 11 月号 大澤修一 2023 年 11 月																																								
茨城県における新型コロナウイルス全ゲノム解析実施状況について																																								
茨城県獣医師会報 11 月号 上野恵 2023 年 11 月																																								
4) 広報・情報発信・普及啓発	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>(1) 感染症情報センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症発生動向調査事業に基づき、感染症の情報を収集・解析し、週報及び月報として、衛生研究所の病原体検出状況を月報としてそれぞれホームページに掲載し、情報提供を行った。</li> <li>6月に県内在住のオズウイルス感染症世界初診断例が公表され、患者はマダニの刺咬により感染した可能性が考えられたため、ホームページでダニ媒介感染症の注意喚起を行った。また動画を作成しホームページに掲載した。</li> <li>新型コロナウイルスのゲノム解析の結果について、解析数・検出割合等のまとめをホームページに掲載した。</li> <li>2022/23 シーズンから 2023/24 シーズンにかけて、県内のインフルエンザの定点当たり報告数は流行入りの目安となる 1.0 をほぼ下回ることなく、年間通してほぼ毎週、保健所ごとの報告数の推移、入院情報、病原体検出状況等をまとめたものを「インフルエンザ流行情報」としてホームページへ掲載し、情報提供を行った。またインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の措置及び施設別集団発生状況についても該当事例がある場合に毎週情報提供を行った。</li> <li>衛生研究所公式「X」にて、週報の発行にあわせて週ごとの感染症情報を投稿し、情報発信した。</li> <li>麻しんの 4 年ぶりの発生、梅毒が過去最多届出数となったこと等を受け、適宜発生状況や予防法等について注意喚起を目的としホームページで情報発信を行った。</li> <li>感染症情報センターホームページの閲覧数は月約 3000~8000 件であり、県民ニーズに応じた情報提供を行うことが出来た。</li> <li>茨城県感染症発生動向調査部会を開催し、県内の感染症発生動向の情報還元および病原体サーベイランスにおける課題について議論した。</li> </ul> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ掲載公衆衛生情報：225回</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>「内訳」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県民への注意喚起</td> <td>7 回</td> </tr> <tr> <td>感染症発生動向調査_月報・週報等</td> <td>103 回</td> </tr> <tr> <td>病原体検出情報</td> <td>12 回</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ流行情報、学級閉鎖情報</td> <td>101 回</td> </tr> </table>	「内訳」		県民への注意喚起	7 回	感染症発生動向調査_月報・週報等	103 回	病原体検出情報	12 回	インフルエンザ流行情報、学級閉鎖情報	101 回	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現																										
「内訳」																																								
県民への注意喚起	7 回																																							
感染症発生動向調査_月報・週報等	103 回																																							
病原体検出情報	12 回																																							
インフルエンザ流行情報、学級閉鎖情報	101 回																																							

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価			評価委員会評価																																																			
	評価	計画達成の状況		評価	評価における特記事項																																																		
		<p>新型コロナウイルスゲノム解析結果について 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公式「X」への投稿 52回</li> <li>・茨城県感染症発生動向調査部会 2回（10月、2月）</li> <li>・茨城県感染症発生動向調査部会 2回（10月、2月）</li> </ul> <p>(2) 県民意識の醸成 (2)-1 県民等への情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県政出前講座の実施</li> <li>・パネル展示（県庁2階県政広報コーナー）</li> <li>・衛生研究所公式「X」およびホームページによる公衆衛生に関する情報発信</li> <li>・「Yahoo!くらし」に感染症（ダニ媒介感染症、梅毒）に関する注意喚起掲載</li> </ul> <p>【実績】</p> <p>○出前講座・研修会：3回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出前講座・研修会名</th> <th>依頼者</th> <th>場所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染症の基礎と予防対策について</td> <td>水戸市シルバー人材センター</td> <td>水戸市</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>食中毒と予防方法について</td> <td>道の駅ごか農産物直売所販売組合</td> <td>五霞町</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>食中毒と予防方法について</td> <td>土浦市社会福祉協議会</td> <td>土浦市</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>○パネル展示：2テーマ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>タイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">6月30日～7月11日</td> <td>茨城県における結核菌分子疫学解析に関する研究</td> </tr> <tr> <td>野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ホームページ掲載</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>タイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">11月</td> <td>有毒植物による食中毒について</td> </tr> <tr> <td>海外ではまだまだ多い！麻しん(はしか)に注意！</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">12月</td> <td>梅毒が増加しています！</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザが例年より早く流行しています</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>健康食品について</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3月</td> <td>薬剤耐性菌(AMR)について</td> </tr> <tr> <td>アニサキスによる食中毒に注意しましょう</td> </tr> <tr> <td>生肉に注意！</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)-2 薬剤耐性対策の推進 【実績】普及啓発活動：10件/年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>普及啓発活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>啓発動画広報用チラシの作成</td> </tr> <tr> <td>11月、3月</td> <td>啓発動画広報用チラシの配布(出前講座)</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">11月</td> <td>啓発動画広報用チラシの設置(県内イオン11店舗)</td> </tr> <tr> <td>啓発動画広報用チラシの配布(県内道の駅16か所)</td> </tr> <tr> <td>県内イオンモール(3店舗)での啓発動画放映</td> </tr> <tr> <td>日本生命社内イントラでの啓発動画放映</td> </tr> <tr> <td>ラジオ番組による啓発情報発信</td> </tr> <tr> <td>SNSによる情報発信(県公式X、衛生研究所公式X)</td> </tr> <tr> <td>パネル展示(県庁2階県政広報コーナー、県立図書館ギャラリー)およびホームページによる情報発信</td> </tr> <tr> <td>啓発ポスター追加配布</td> </tr> </tbody> </table>		出前講座・研修会名	依頼者	場所	参加者数	感染症の基礎と予防対策について	水戸市シルバー人材センター	水戸市	15	食中毒と予防方法について	道の駅ごか農産物直売所販売組合	五霞町	16	食中毒と予防方法について	土浦市社会福祉協議会	土浦市	25	日付	タイトル	6月30日～7月11日	茨城県における結核菌分子疫学解析に関する研究	野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析	日付	タイトル	11月	有毒植物による食中毒について	海外ではまだまだ多い！麻しん(はしか)に注意！	12月	梅毒が増加しています！	インフルエンザが例年より早く流行しています	1月	健康食品について	3月	薬剤耐性菌(AMR)について	アニサキスによる食中毒に注意しましょう	生肉に注意！	日付	普及啓発活動	10月	啓発動画広報用チラシの作成	11月、3月	啓発動画広報用チラシの配布(出前講座)	11月	啓発動画広報用チラシの設置(県内イオン11店舗)	啓発動画広報用チラシの配布(県内道の駅16か所)	県内イオンモール(3店舗)での啓発動画放映	日本生命社内イントラでの啓発動画放映	ラジオ番組による啓発情報発信	SNSによる情報発信(県公式X、衛生研究所公式X)	パネル展示(県庁2階県政広報コーナー、県立図書館ギャラリー)およびホームページによる情報発信	啓発ポスター追加配布		
出前講座・研修会名	依頼者	場所	参加者数																																																				
感染症の基礎と予防対策について	水戸市シルバー人材センター	水戸市	15																																																				
食中毒と予防方法について	道の駅ごか農産物直売所販売組合	五霞町	16																																																				
食中毒と予防方法について	土浦市社会福祉協議会	土浦市	25																																																				
日付	タイトル																																																						
6月30日～7月11日	茨城県における結核菌分子疫学解析に関する研究																																																						
	野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析																																																						
日付	タイトル																																																						
11月	有毒植物による食中毒について																																																						
	海外ではまだまだ多い！麻しん(はしか)に注意！																																																						
12月	梅毒が増加しています！																																																						
	インフルエンザが例年より早く流行しています																																																						
1月	健康食品について																																																						
3月	薬剤耐性菌(AMR)について																																																						
	アニサキスによる食中毒に注意しましょう																																																						
	生肉に注意！																																																						
日付	普及啓発活動																																																						
10月	啓発動画広報用チラシの作成																																																						
11月、3月	啓発動画広報用チラシの配布(出前講座)																																																						
11月	啓発動画広報用チラシの設置(県内イオン11店舗)																																																						
	啓発動画広報用チラシの配布(県内道の駅16か所)																																																						
	県内イオンモール(3店舗)での啓発動画放映																																																						
	日本生命社内イントラでの啓発動画放映																																																						
	ラジオ番組による啓発情報発信																																																						
	SNSによる情報発信(県公式X、衛生研究所公式X)																																																						
	パネル展示(県庁2階県政広報コーナー、県立図書館ギャラリー)およびホームページによる情報発信																																																						
啓発ポスター追加配布																																																							
5) 外部人材育成、教育活動	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>○年間を通し県の新任感染症担当者向け研修を県庁主管課とともに実施した。また、県内医療機関が主催する地域医療連携会議へ出席し、県内の感染症流行情報の提供や注意喚起を行った。</p> <p>【実績】保健所等への専門的・技術的研修会：18回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会・講座名</th> <th>対象者等</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃腸炎ウイルスの検出方法について</td> <td>水戸市保健所</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>感染症対策に関する新任担当者研修会(サーベイランス・積極的疫学調査)</td> <td>保健所等新規感染症担当者</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>令和5年度 第1回感染症対策に関する保健所新任担当者等研修会 ゆうパックにより検体を送付するための梱包方法について</td> <td>保健所及び衛生研究所の新任感染症担当者</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>令和5年度新規採用養護教諭研修「感染症の予防と管理」</td> <td>公立小・中学校・高等学校・特別支援学校の新規採用の養護教諭</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>感染症対策に関する新任担当者研修会(麻しん対応)</td> <td>保健所等新規感染症担当者</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>		研修会・講座名	対象者等	参加者数	胃腸炎ウイルスの検出方法について	水戸市保健所	2	感染症対策に関する新任担当者研修会(サーベイランス・積極的疫学調査)	保健所等新規感染症担当者	18	令和5年度 第1回感染症対策に関する保健所新任担当者等研修会 ゆうパックにより検体を送付するための梱包方法について	保健所及び衛生研究所の新任感染症担当者	18	令和5年度新規採用養護教諭研修「感染症の予防と管理」	公立小・中学校・高等学校・特別支援学校の新規採用の養護教諭	14	感染症対策に関する新任担当者研修会(麻しん対応)	保健所等新規感染症担当者	17	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現																																
研修会・講座名	対象者等	参加者数																																																					
胃腸炎ウイルスの検出方法について	水戸市保健所	2																																																					
感染症対策に関する新任担当者研修会(サーベイランス・積極的疫学調査)	保健所等新規感染症担当者	18																																																					
令和5年度 第1回感染症対策に関する保健所新任担当者等研修会 ゆうパックにより検体を送付するための梱包方法について	保健所及び衛生研究所の新任感染症担当者	18																																																					
令和5年度新規採用養護教諭研修「感染症の予防と管理」	公立小・中学校・高等学校・特別支援学校の新規採用の養護教諭	14																																																					
感染症対策に関する新任担当者研修会(麻しん対応)	保健所等新規感染症担当者	17																																																					

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価			評価委員会評価	
	評価	計画達成の状況		評価	評価における特記事項
		令和5年度ゆうパックにより検体を送付するための研修会	保健所、衛生研究所において病原体包装に係る者(新規のみ)	6	
		感染対策向上加算に関わる訓練	県立こども病院感染対策向上加算連携医療機関	20 程度	
		感染症診療における早期対応に関する web 研修会	県内各医療機関の感染症の非専門医	50 程度	
		GMP 医薬品試験検査研修	保健医療部薬務課職員	3	
		感染症対策に関する保健所新任担当者・新任食品衛生監視員研修会(感染性胃腸炎)	保健所等新規感染症担当者、食品衛生担当者等	29	
		感染管理における地域医療連携会議	土浦協同病院感染対策向上加算連携医療機関	50 程度	
		令和5年度ゆうパックにより検体を送付するための研修会	医療機関、衛生検査所、保健所、衛生研究所において病原体包装に係る者(新規・継続)	46	
		令和5年度ゆうパックにより検体を送付するための研修会	医療機関、衛生検査所、保健所、衛生研究所において病原体包装に係る者(新規・継続)	43	
		GMP 医薬品試験検査研修	保健医療部薬務課職員	1	
		感染症診療における早期対応に関する web 研修会	県内各医療機関の感染症の非専門医	50 程度	
		感染症リスクアセスメント研修会	保健所、医療機関、社会福祉施設、学校等	50	
		エイズ拠点病院連絡会議	茨城県エイズ治療拠点病院等連絡会議構成員	20 程度	
		感染管理における地域医療連携会議	土浦協同病院感染対策向上加算連携医療機関	50 程度	
<b>【実績】 学生等への教育活動：16回</b>					
		<b>研修会・講義名</b>	<b>対象者等</b>	<b>参加者数</b>	
		臨床研修医研修	筑波メディカルセンター病院臨床研修医 2年 土浦保健所地域保健推進室技師	2	
		獣医学科医学生の職場見学	日本大学獣医学科獣医衛生学研究室 6年	1	
		医学生の社会医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	19	
		獣医学科医学生の職場見学	鹿児島大学獣医学科 5年	1	
		令和5年度茨城県保健医療部新規採用職員研修(現地研修)	令和5年度保健医療部新規採用職員	13	
		茨城県庁インターンシップ学生の職場見学	昭和大学、医療創生大学、東京薬科大学、 日本大学	4	
		茨城県庁インターンシップ学生の職場見学	東京薬科大学、昭和大学、慶応義塾大学、 東京薬科大学	4	
		茨城県庁インターンシップ学生の職場見学	長野大学社会福祉部社会福祉学科	1	
		臨床研修医・研修歯科医研修	筑波大学附属病院臨床研修医 2年 ウララ歯科クリニック研修歯科医 1年	2	
		茨城県庁インターンシップ学生の職場見学	北海道大学獣医学部共同獣医師科 5年	1	
		医学生の地域保健実習	獨協医科大学医学部 5年	2	
		臨床研修医の公衆衛生実習	筑波大学附属病院臨床研修医	2	
		獣医学科医学生の職場見学	麻布大学獣医学科伝染病学研究室 5年	1	
		臨床研修医の公衆衛生実習	筑波大学附属病院臨床研修医 土浦保健所会計年度任用職員(医師)	2	
		獣医学科医学生の職場見学	日本大学獣医学科 5年	1	
		獣医学科医学生の職場見学	麻布大学獣医学科獣医衛生学研究室 5年 岡山理科大学獣医学科 5年	1	

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価			評価委員会評価																																																											
	評価	計画達成の状況		評価	評価における特記事項																																																										
ii) 業務の質的向上・効率化のため実施する方策	1) 全体マネジメント	A	<p>○質・量の両面において概ね令和5年度計画を達成</p> <p>(1) 検査機器の整備等 ○更新計画の見直しを行うとともに、計画に基づき機器整備を実施した。 ・次世シーケンサー、オービシェイカー、超音波ビベット洗浄機、薬用冷凍冷蔵庫、蛍光・微分干涉生物顕微鏡、恒温振とう機、電子天秤、サーマルサイクラー、バイオメディカルクーラー、水素発生装置、LC-MSMS（リース）等</p> <p>(2) 品質保証体制の整備 ○医薬品 PIC/S に係る体制の整備 ・試験検査 SOP（サルボグラマト塩酸塩錠溶出試験、シロドシン口腔内崩壊錠溶出試験、オキサトミド錠 30mg 溶出試験）を追加制定した。 ・試験検査手順書を改定した。 ・本庁（業務課）による公的認定試験検査機関の要件確認のための定期監査を受けた。</p> <p>○食品 GLP に係る検査体制の整備 ・信頼性保証部門（生活衛生課）による内部点検を受けた。</p> <p>(3) 病原体等の安全管理の確保 ・病原体安全管理委員会を2回開催した。 ・内部査察を実施し、結果を委員会で報告した。</p> <p>(4) 業務の進捗状況管理、情報共有及び評価委員会による評価 ア 業務の進捗状況管理、情報共有について ・月2回開催する所内定例部長会議や、随時行う各部内ミーティングで情報共有し、業務等の進捗管理を行った。 ・月2回、4部合同の感染症ミーティングを行い、感染症及び食中毒に係る情報共有・意見交換を行った。</p> <p>イ 評価委員会による評価について ・外部評価として、機関評価委員会を6/30に開催した。 ・機関評価委員会における評価指摘事項をもとに、業務の見直し改善を行った。 ・調査研究では、完了報告2題、事前報告3題、中間報告1題について評価を受け、研究成果の普及や調査研究事業計画の見直し等に反映させた。</p>	A	○質・量の両面において概ね令和5年度計画を達成																																																										
	2) 他機関との連携、調査研究費の獲得	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>調査研究業務の活性化及び試験検査の突発的な対応等に備えた体制の構築・強化に努めた。</p> <p>○調査研究に係る研究機関等との連携 筑波大学や国立感染症研究所等との共同研究5題、研究協力8題を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究区分</th> <th>研究テーマ(研究代表者等)</th> <th>連携機関</th> <th>期間(年度)</th> <th>担当部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">共同研究</td> <td>茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究(衛生研究所 伊師拓哉)</td> <td>国立感染症研究所 県立中央病院 ほか全9医療機関</td> <td>R1~R8</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>茨城県内におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明(衛生研究所 大澤修一)</td> <td>筑波大学附属病院感染症科 (喜安嘉彦)</td> <td>R2~R7</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>茨城県内におけるマダニの分布状況等の実態解明(衛生研究所 大澤修一 上野恵)</td> <td>国立感染症研究所 (葛西真治)</td> <td>R5~R8</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>動物由来感染症の網羅的解析(衛生研究所 大澤修一)</td> <td>国立感染症研究所 (前田健)</td> <td>R5~R9</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>茨城県におけるマダニ生息状況とマダニ媒介感染症の調査研究(衛生研究所 大澤修一 上野恵)</td> <td>国立研究開発法人森林研究・整備機構 筑波大学</td> <td>R5~R7</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">研究協力</td> <td>環境 AMR モニタリング調査:環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法の確立のための研究</td> <td>国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター</td> <td>H30~R6</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>病原体ゲノミクスを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究(黒田誠)黒田班</td> <td>国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター</td> <td>R4~R5</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>国内流行ムンプスウイルスの分子疫学解析に関する研究(加藤大志)</td> <td>国立感染症研究所 ウイルス第三部</td> <td>R3~R5</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>腸管出血性大腸菌 O157 菌株を中心とした分子疫学解析と精度管理(横山敬子)</td> <td>東京都健康安全研究センター 微生物部</td> <td>R3~R5</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>CRE 感染症の臨床的疫学解析(鈴木里和);薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究</td> <td>国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター</td> <td>R3~R5</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>多分野連携による新興・再興エンテロウイルス感染症に対する検査・診断・治療・予防法開発に向けた研究(猿木信裕)</td> <td>群馬県衛生環境研究所</td> <td>R4~R6</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>RS ウイルス感染症サーベイランスシステムの整備・流行動態解明および病態形成・重症化因子の解明に関する開発研究</td> <td>国立感染症研究所</td> <td>R4~R6</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 新興ダニ媒介性ウイルス重症熱に対する総合的な対策スキームの構築</td> <td>国立感染症研究所 (海老原秀喜)</td> <td>R5~R6</td> <td>ウイルス部</td> </tr> </tbody> </table> <p>○地方衛生研究所間の連携 ・健康危機発生時相互応援協定による窓口担当者の確認、専門家リストを作成した。 ・地方衛生研究所全国協議会ウイルス部会、細菌部会、理化学部会、公衆衛生情報研究会に参加した。 ・衛生微生物技術協議会に参加した。 ・衛生理化学分野研修会に参加した。 ・各自自治体からの照会、アンケート調査等に協力した。 ・地方衛生研究所全国協議会総会を開催した。</p>	研究区分	研究テーマ(研究代表者等)	連携機関	期間(年度)	担当部	共同研究	茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究(衛生研究所 伊師拓哉)	国立感染症研究所 県立中央病院 ほか全9医療機関	R1~R8	細菌部	茨城県内におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明(衛生研究所 大澤修一)	筑波大学附属病院感染症科 (喜安嘉彦)	R2~R7	ウイルス部	茨城県内におけるマダニの分布状況等の実態解明(衛生研究所 大澤修一 上野恵)	国立感染症研究所 (葛西真治)	R5~R8	ウイルス部	動物由来感染症の網羅的解析(衛生研究所 大澤修一)	国立感染症研究所 (前田健)	R5~R9	ウイルス部	茨城県におけるマダニ生息状況とマダニ媒介感染症の調査研究(衛生研究所 大澤修一 上野恵)	国立研究開発法人森林研究・整備機構 筑波大学	R5~R7	ウイルス部	研究協力	環境 AMR モニタリング調査:環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法の確立のための研究	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター	H30~R6	細菌部	病原体ゲノミクスを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究(黒田誠)黒田班	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター	R4~R5	ウイルス部	国内流行ムンプスウイルスの分子疫学解析に関する研究(加藤大志)	国立感染症研究所 ウイルス第三部	R3~R5	ウイルス部	腸管出血性大腸菌 O157 菌株を中心とした分子疫学解析と精度管理(横山敬子)	東京都健康安全研究センター 微生物部	R3~R5	細菌部	CRE 感染症の臨床的疫学解析(鈴木里和);薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究	国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター	R3~R5	細菌部	多分野連携による新興・再興エンテロウイルス感染症に対する検査・診断・治療・予防法開発に向けた研究(猿木信裕)	群馬県衛生環境研究所	R4~R6	ウイルス部	RS ウイルス感染症サーベイランスシステムの整備・流行動態解明および病態形成・重症化因子の解明に関する開発研究	国立感染症研究所	R4~R6	ウイルス部	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 新興ダニ媒介性ウイルス重症熱に対する総合的な対策スキームの構築	国立感染症研究所 (海老原秀喜)	R5~R6	ウイルス部	AA
研究区分	研究テーマ(研究代表者等)	連携機関	期間(年度)	担当部																																																											
共同研究	茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究(衛生研究所 伊師拓哉)	国立感染症研究所 県立中央病院 ほか全9医療機関	R1~R8	細菌部																																																											
	茨城県内におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明(衛生研究所 大澤修一)	筑波大学附属病院感染症科 (喜安嘉彦)	R2~R7	ウイルス部																																																											
	茨城県内におけるマダニの分布状況等の実態解明(衛生研究所 大澤修一 上野恵)	国立感染症研究所 (葛西真治)	R5~R8	ウイルス部																																																											
	動物由来感染症の網羅的解析(衛生研究所 大澤修一)	国立感染症研究所 (前田健)	R5~R9	ウイルス部																																																											
	茨城県におけるマダニ生息状況とマダニ媒介感染症の調査研究(衛生研究所 大澤修一 上野恵)	国立研究開発法人森林研究・整備機構 筑波大学	R5~R7	ウイルス部																																																											
研究協力	環境 AMR モニタリング調査:環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法の確立のための研究	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター	H30~R6	細菌部																																																											
	病原体ゲノミクスを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究(黒田誠)黒田班	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター	R4~R5	ウイルス部																																																											
	国内流行ムンプスウイルスの分子疫学解析に関する研究(加藤大志)	国立感染症研究所 ウイルス第三部	R3~R5	ウイルス部																																																											
	腸管出血性大腸菌 O157 菌株を中心とした分子疫学解析と精度管理(横山敬子)	東京都健康安全研究センター 微生物部	R3~R5	細菌部																																																											
	CRE 感染症の臨床的疫学解析(鈴木里和);薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究	国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター	R3~R5	細菌部																																																											
	多分野連携による新興・再興エンテロウイルス感染症に対する検査・診断・治療・予防法開発に向けた研究(猿木信裕)	群馬県衛生環境研究所	R4~R6	ウイルス部																																																											
	RS ウイルス感染症サーベイランスシステムの整備・流行動態解明および病態形成・重症化因子の解明に関する開発研究	国立感染症研究所	R4~R6	ウイルス部																																																											
	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 新興ダニ媒介性ウイルス重症熱に対する総合的な対策スキームの構築	国立感染症研究所 (海老原秀喜)	R5~R6	ウイルス部																																																											



評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価						
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項					
		<p>○県内の県立試験研究機関等との連携                      県立健康プラザ、中央保健所、精神保健福祉センター及び水戸市保健所と合同で業績発表会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康プラザ 2題</li> <li>・中央保健所 2題</li> <li>・精神保健福祉センター 1題</li> <li>・水戸市保健所 1題</li> <li>・衛生研究所 7題</li> </ul> <p>○茨城県公衆衛生行政連絡会議</p> <p>○外部資金(特別電源所在県科学技術振興事業補助金)を活用中の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究事業(継続) 2事業</li> <li>・機器整備事業 1事業</li> </ul> <p>○外部資金以外の調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究事業(継続) 2事業</li> <li>・調査研究事業(新規) 2事業</li> </ul>							
3) 県民ニーズの把握	B	<p>○質(あるいは量)において取り組みが不十分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いばらき予防医学プラザ(県立健康プラザ、中央保健所、精神保健福祉センター及び衛生研究所)及び水戸市保健所による業績発表会を開催し、調査研究等事業内容の相互理解と県民ニーズの把握充実に努めた。</li> <li>・出前講座や研修会でアンケート調査を実施し、県民ニーズの把握に努めた。</li> <li>・茨城県薬剤耐性対策推進会議の委員と本県の AMR 対策活動について議論し、現場ニーズを把握した。</li> </ul> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関等との意見交換会の実施:3回</li> <li>・業績発表会(1月)</li> <li>・茨城県薬剤耐性対策推進会議(2回:7月、2月)</li> <li>・出前講座・研修会等:3回(再掲)</li> </ul>	A	○質・量の両面において概ね令和5年度計画を達成					
4) 内部人材育成	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>(1) 研修・交流機会の確保                      各技術研究会や学会等に、積極的に参加した。また、参加者は、研修内容について伝達講習を行い、職場全体の資質向上に努めた。</p> <p>(主な研修会)</p> <p>○ 技術研修                      新興再興感染症技術研修、マダニ虫体からのウイルス分離培養研修、LCMSMS 研修会、危機管理研修会等(のべ 54 人参加)</p> <p>○ 学会                      日本感染症学会、日本食品衛生学会、日本公衆衛生学会、日本中毒学会東日本地方会等(のべ 32 人参加)</p> <p>○ 地方衛生研究所全国協議会                      全国衛生化学技術協議会 等</p> <p>(2) 所内研修及び伝達講習                      外部専門家による研修会など、所内研修会を4回実施した他、所内各部署で内部研修を実施し、研鑽できる環境整備に努めた。                      若手研究員に対しては、確実に業務を遂行できるよう専属のトレーナーを配置し、計画検査や行政依頼検査に先立ち、年間を通じた実務研修(OJT)を実施した。また、研修会・学会等の参加者が伝達講習を行い、情報共有した。</p> <p>【所内研修会実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○業績発表会 1回(演題数:13)</li> <li>○外部専門家を招聘した研修会 1回                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・「麻しん対策について」                              神奈川県衛生研究所 所長 多屋 馨子 先生</li> </ul> </li> <li>○安全管理教育訓練講習 1回                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・「実験操作におけるバイオセーフティー」(資料閲覧およびレポート提出)</li> </ul> </li> <li>○研究者倫理に関する研修会等 1回                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・新任研究職員対象所内研修</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 精度管理事業の実施及び参加 結果はすべて適合</p> <p>(外部精度管理)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業 コレラ菌 3 検体、麻しん 5 検体</td> </tr> <tr> <td>厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業コロナウイルスの次世代シーケンシング(NGS)による遺伝子の読解解析 3 検体</td> </tr> <tr> <td>厚生労働省が実施する医薬品試験の精度管理事業 ウルソデオキシコール酸錠 1 検体</td> </tr> <tr> <td>地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部が実施する精度管理(健康食品) 1 検体</td> </tr> <tr> <td>令和 5 年度厚生労働省科学研究補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)                      「公衆浴場の衛生管理の推進のための研究」における「レジオネラ属菌検査の精度管理調査研究」                      2 検体</td> </tr> </table>	厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業 コレラ菌 3 検体、麻しん 5 検体	厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業コロナウイルスの次世代シーケンシング(NGS)による遺伝子の読解解析 3 検体	厚生労働省が実施する医薬品試験の精度管理事業 ウルソデオキシコール酸錠 1 検体	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部が実施する精度管理(健康食品) 1 検体	令和 5 年度厚生労働省科学研究補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業) 「公衆浴場の衛生管理の推進のための研究」における「レジオネラ属菌検査の精度管理調査研究」 2 検体	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業 コレラ菌 3 検体、麻しん 5 検体									
厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業コロナウイルスの次世代シーケンシング(NGS)による遺伝子の読解解析 3 検体									
厚生労働省が実施する医薬品試験の精度管理事業 ウルソデオキシコール酸錠 1 検体									
地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部が実施する精度管理(健康食品) 1 検体									
令和 5 年度厚生労働省科学研究補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業) 「公衆浴場の衛生管理の推進のための研究」における「レジオネラ属菌検査の精度管理調査研究」 2 検体									

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価	
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項
		<p>(一財)食品薬品安全センターが実施する食品衛生外部精度管理調査 (E.coli、一般細菌数、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、大腸菌群、腸内細菌科菌群、残留農薬、食品添加物) 13 検体</p> <p>厚生労働科学研究(新興再興感染症及び予防接種政策推進研究事業) 「食品由来感染症の病原体解析の手法及び病原体情報の共有に関する研究」腸管出血性大腸菌 5 検体</p> <p>2023 年度厚労科研費「国内の病原体サーベイランスに資する機能的なラボネットワークの強化に関する研究」分担研究 「抗酸菌型別分析における精度保証」結核菌 5 検体</p> <p>(内部精度管理) 試験検査前に、随時実施した。</p>		